



Title	コミュニティボールとは?
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2011, 17, p. 18
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/5990
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

コミュニティボールとは？

子どもの哲学で用いられる、ハワイ発祥のツール。授業に参加する者は車座になって座り、用意された質問に答えながら毛糸を巻く。全員が質問に答え終わったら、進行役は毛糸をまとめてボールを完成させる。

コミュニティボールを用いた授業では、ボールを持っている人だけが発言をすることができ、他の参加者たちはその人の言葉に耳を傾ける。参加者たちはこのルールを共有し、共同作業で、ゆっくりと対話を進めていく。ボールを持つ人の行為、例えば、参加者全員が納得できるような発言、予想もで

きなかった突拍子もない発言、うつむきながら言葉を探ろうとする沈黙などは、他の参加者たちによって受けとめられる。参加者たちは、ときに発言者の言葉を聞き流す経験をし、ときに意表を突かれた言葉によって思考が揺さぶられるだろう。彼らは言葉の海の中でもがきながらも、ゆっくりと、共同作業で、彼らだけのコミュニティを作ろうと試みる。

ときにもがきながら、ゆっくりと共同作業でコミュニティを作り出そうとする試みが、このボールには込められている。

